

2009年度

|   |  |     |       |
|---|--|-----|-------|
| 科目名   | 演習Ⅱ  |     |       |
| 担当教員  | 浅尾 広良  |     |       |
| 配当  | 日文4  | コード | 43140 |
| 開期  | 通年   | 講時  | 木曜日3限 |
| 単位数   | 4  |     |       |
| 授業テーマ   | 物語文学研究   |     |       |
| 目的と概要   | <p>中古の物語文学に関して各自問題を設定し、考察を深める。物語がどのように享受され理解されてきたのか、先学の研究成果を踏まえながら研究を進める。また、インターネット上で公開されている研究成果などを利用しながら、現在の研究状況を把握する。内容は学生各自の研究発表および卒業研究の中間発表。全体での討議を通して内容を深め、同時並行して個人指導を行う。個人指導にあたっては、大学での個人指導はもちろん、オンラインを利用して常時対応できるようにする予定である。</p> <p>最終目標は卒業研究の完成にあるので、各自問題意識をしっかりとって取り組んでもらいたい。</p> |     |       |
| 成績評価法   | 発表内容(40%)および質疑応答等の授業に取り組む姿勢(20%)、提出されたレポートの内容(40%)を総合的に評価する。   |     |       |
| テキスト  | 必要に応じて授業時にプリントを配布する。   |     |       |
| 参考書   | 必要に応じて授業時に指示する。  |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言   | マニュアル本に頼るのではなく、自分で問題意識をもち、調べ、展開し、まとめる努力をしましょう。どんなに稚拙な問題であれ、自分で問題意識をもつことが重要です。  |     |       |
| 講義計画  |  |     |       |
| 1 オリエンテーション(授業の進め方、年間の計画、評価の方法)<br>2 卒業論文の仕上げ方(年間計画、問題整理と研究の方法論、下書き、清書の仕方等)<br>3 文献検索の方法、資料の集め方、カードの取り方等<br>4 研究発表指導①<br>5 研究発表指導②<br>6 研究発表指導③<br>7 研究発表指導④<br>8 研究発表1(担当1)発表・質疑応答・講評<br>9 研究発表2(担当2)発表・質疑応答・講評<br>10 研究発表3(担当3)発表・質疑応答・講評<br>11 研究発表4(担当4)発表・質疑応答・講評<br>12 研究発表5(担当5)発表・質疑応答・講評<br>13 研究発表6(担当6)発表・質疑応答・講評<br>14 研究発表7(担当7)発表・質疑応答・講評<br>15 前期のまとめ 前期レポート提出<br>16 研究発表8(担当8)発表・質疑応答・講評<br>17 研究発表9(担当9)発表・質疑応答・講評<br>18 研究発表10(担当10)発表・質疑応答・講評<br>19 卒業論文の書き方ガイダンス<br>20 中間発表1(担当1)発表・質疑応答・講評<br>21 中間発表2(担当2)発表・質疑応答・講評<br>22 中間発表3(担当3)発表・質疑応答・講評<br>23 中間発表4(担当4)発表・質疑応答・講評<br>24 中間発表5(担当5)発表・質疑応答・講評<br>25 中間発表6(担当6)発表・質疑応答・講評<br>26 中間発表7(担当7)発表・質疑応答・講評<br>27 中間発表8(担当8)発表・質疑応答・講評<br>28 中間発表9(担当9)発表・質疑応答・講評<br>29 中間発表10(担当10)発表・質疑応答・講評<br>30 全体のまとめ |  |     |       |